

●シンポジウム●

【建築CPD：4 単位】

建物の構造・機能評価に関する モニタリング技術の現状

＜主催＞ 日本建築学会 構造委員会 振動運営委員会 構造モニタリング小委員会

2011年に発生した東日本大震災後、構造モニタリングシステムが注目されつつある。本シンポジウムでは、最新成果としての構造物のモニタリング手法、建物室内モニタリングの事例、免振構造物および一般構造物のモニタリングシステムの事例を紹介し、構造モニタリングシステムの普及に寄与することを目的とする。内容的には、特に建築分野において構造モニタリング技術の実用段階で、*何ができるか（技術力）、どこまでできるか（限度）、そしてモニタリングシステムの計画上でどのような問題があるかを明らかにする。*

日時：2017年2月24日（金） 13:00～17:00

会場：建築会館・本会会議室（東京都港区芝5-26-20）

【プログラム】 *各講演の題目等は変更されることがあります

司会：薛 松濤（後掲）・肥田剛典（後掲）

-
- | | |
|---|-----------------------|
| 1. はじめに | : 薛 松濤（小委員会主査／東北工業大学） |
| 2. 構造評価 | |
| 2.1 安価な加速度計を用いた建物のリアルタイム残余耐震性能判定装置 | : 楠 浩一（東京大学） |
| 2.2 モード同定法を利用した鉄骨造建物の構造健全性モニタリング | : 池田芳樹（鹿島建設） |
| 2.3 連結ダンパを有する建築構造のモニタリング事例 | : 西村 功（東京都市大学） |
| 2.4 ハイブリット構造物のモニタリングシステム | : 薛 松濤（前掲） |
| 2.5 免震建物の施工管理におけるリアルタイム遠隔監視システム | : 曾根孝行（竹中工務店） |
| 2.6 杭基礎の健全性を確認するためのモニタリングシステム | : 佐藤貢一（大成建設） |
| 2.7 建築設計事務所主体で開発した構造ヘルスマニタリングシステム | : 風間宏樹（日建設計） |
| 2.8 地震直後の建物の健全性判定支援を目的としたモニタリングシステム | : 白石理人（清水建設） |
| 2.9 新宿駅西口地区超高層ビルに実装された構造ヘルスマニタリングシステム | : 三田 彰（慶應義塾大学） |
| 3. 機能評価 | |
| 3.1 超高層建物向け緊急地震速報システム | : 吉澤睦博（竹中工務店） |
| 3.2 地震時室内人間行動モニタリングシステムの開発 | : 中嶋唯貴（北海道大学） |
| 3.3 建物モニタリング診断システムの導入事例
— 超高層ビルに実装された災害対応型統合管理システム | : 渡壁守正（広島工業大学） |
| 3.4 超高層集合住宅の室内被害推定手法 | : 肥田剛典（東京大学） |
| 4. 総合討論 | |
| 5. まとめ | : 佐藤貢一（前掲） |
-

定員：70名（申込み先着順） ★定員を増やしました。

参加費：会員3,000円、会員外5,000円、学生2,000円 *資料代2,000円含む

申込方法：WEB 事前申込み ▶<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1668>

申込締切：2017年2月14日（火）

問合せ：日本建築学会事務局事業グループ 伏見 Tel. 03-3456-2057